

薬事・食品衛生審議会
平成17年度第5回血液事業部会運営委員会議事次第

日時：平成18年1月26日(木)

10:00～12:00

場所：はあといん乃木坂「フルール」

議題：

- 1 議事要旨の確認
- 2 献血血液における HIV 陽性率の動向について
- 3 感染症定期報告について
- 4 血液製剤に関する報告事項について
- 5 その他

配付資料：

委員名簿

資料 A 平成17年度第4回血液事業部会運営委員会議事要旨（案）

資料 B 献血血液における HIV 陽性率の動向について

資料 C 感染症定期報告について

資料D-1 供血者からの遡及調査の進捗状況について

資料D-2 血液製剤に関する報告事項について

平成17年度第4回血液事業部会運営委員会議事要旨（案）

日 時：平成17年11月1日（火）15：00～17：10

場 所：はあといん乃木坂「フルール」

出席者：清水委員長、

大平、岡田、川西、高橋、花井各委員

（事務局）

福井医薬食品局長、中垣安全対策課長、関血液対策課長、植村企画官、

中山課長補佐、佐藤課長補佐他

- 議 題：
- 1 議事要旨の確認
 - 2 日本赤十字社血液事業本部の取組について
 - 3 感染症定期報告について
 - 4 血液製剤に関する報告事項について
 - 5 その他

（審議概要）

議題1について

議事要旨に関する意見については、事務局まで連絡することとされた。

議題2について

日本赤十字社参考人から提出資料について説明があり、委員から以下の指摘があった。

- 分画の問題については、赤十字としては、計画ぐらいいは考えておいていただいた方がよいのではないか。日赤の事業は、公の事業を担っているのので、やはり審議会とか、検討会で議論されてその審議を尊重しないとけないと思う。日赤としての考えを示していただきたい。国としては、さらに大局的な考え方を「血漿分画製剤の製造体制の在り方に関する検討会」に出してもらう必要がある。

議題3について

感染症定期報告について、事務局から説明があった。

議題4について

事務局が資料に基づいて説明した後、日赤参考人より資料に基づいて説明が行われた。その後以下の意見があった。

- VVRの採血後の経時的な発生頻度を調べ、濃密に経過を観察する必要のある時間を、検討された方がよろしいのではないかと思います。もしデ

ータがなければ、早急にそういうデータを収集し、参考にさせていただく必要もあるのではないかと思う。

- 今の時代、献血をする側のリスク情報は、きちんと出すということが求められてくると思われる。具体的なイメージがわかるような献血後の説明にしたらどうか。
- D-2の個別の報告のところで、細菌汚染による赤血球輸血、これはどれくらい保存した赤血球を使ったのかということ、できれば記載してもらいたい。
- 個別症例の一覧表の中に、これは確信例、これは疑い例だというようなコメントをちょっと付してあれば、見たときに非常にわかりやすくなる。

以上